

佐藤 亜美

箏・十七絃・二十五絃箏・低音二十五絃箏・尺八奏者

1984年 宮城県登米市生まれ。箏・三絃を母(生田流箏曲一音舎主催佐藤佳世子)に手ほどきを受け、尺八を父(都山流尺八楽会竹 琳軒佐藤皖山)に手ほどきを受ける。

2001年 読売新聞社・高崎芸術短期大学主催第7回高校生国際芸術コンクール 2001 箏部門において第2位受賞。

2002年 文化庁新進芸術家国内研修制度研修員に認定。宮城県高等学校文化連盟賞を受賞。中国音楽理事会主催『長江杯』国際音楽コンクール邦楽の一般の部で第2位(最高位)受賞。

2003年 日・韓交流演奏会 In 韓国 大邱(宮城県芸術協会派遣)。

2004年 伝統と現代第14回日独青少年交流コンサート・日本 2004 出演。

2005年 伝統と現代第15回日独青少年交流コンサート・ドイツ 2005 出演(ケルン・ベルリンをはじめ7都市7公演)。鹿島中学校邦楽鑑賞会(福島県鹿島町教育委員会主催)

2006年 第13回賢順記念全国箏曲祭で賢順賞(第1位)受賞。桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻卒業。

2007年 NHK教育テレビ「芸能花舞台」に出演。財団法人音楽文化創造 生涯学習音楽指導員研究会ネットワーク「全国シンポジウム」において研究コンサート出演。

2008年 音楽振興法推進会議 全国協議会においてミニコンサート出演。桐朋学園芸術短期大学専攻科音楽専攻卒業。

2009年 ~文化庁「地域文化芸術振興プラン」みやぎ芸術銀河「秋の祭典」出演。慶應義塾大学教養研修センター日吉行事企画委員会(HAPP)特別企画「来往舎 秋・空・響 part2~音の舞~」出演。桐朋学園芸術短期大学研究生修了。

2011年 ~長谷検校記念~第17回くまもと全国邦楽コンクールにて最優秀賞、文部科学大臣奨励賞受賞。

桐朋学園芸術短期大学在学中に箏、十七絃箏、二十五絃箏を野坂恵子氏、滝田美智子氏に師事。尺八を坂田梁山氏に師事。

現在、生田流箏曲一音舎補佐、仙台三曲協会会員、迫町文化協会会員。二十五絃箏演奏グループ4+メンバー。また、高校時代に立ち上げた宮城県佐沼高等学校箏曲部において指導にあたる。

現在の活動としては、2009年に学生時代の仲間4人と共に立ち上げた4plus(二十五絃箏演奏家グループ)を中心に、都内、神奈川、熊本、新潟等の地域財団より依頼を受け、小学校、病院、美術館にてアウトリーチを開催する他、誕生して間もない二十五絃箏の魅力をもっと多くの方々に広めるべく、親しみやすい内容でのコンサート開催、及び作曲家の公募をし、二十五絃箏の新たな作品をうみだすべく、新曲作品演奏会を開催するなど、精力的に活動している。